

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら新川崎教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に定期的に教室の様子を写真にて配信している。	・定期的に職員会議を開き、職員間の情報共有を行い、支援に活かしている。	・今後も継続的に会議などを着実にやっていく。
2	・親御さんの意見、感情などをくみ取り、他職員に周知させることができる。また、ご意見をいただいた上で保護者会などを開催している。	・ブログを月に一回必ず更新し、教室の様子を配信している	・より多くの保護者の方にSNSでの活用状況を周知していきたい。
3	・音楽療法・言語療法など専門的な支援を行える。	・プログラムについての会議を月に一回必ず行い、プログラムが同じようなものにならないように工夫している。	・園・学校との連携を強くし、個別支援計画にさらに反映させていくと共に、職員にも情報を共有し、支援方法の拡充を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練などの周知方法	・避難訓練自体は行っているものの、保護者様への周知方法がまだ確立されていない。	・保護者会などを開催し、そこで避難訓練の活動方向などを行う。また送迎時の際に口頭説明、連絡帳などにも記録を記載する。
2	・支援の経過報告が弱い。	・支援計画の内容を全体で把握しきれていない。	・保護者会などを開催し、そこで避難訓練の活動方向などを行う。また送迎時の際に口頭説明、連絡帳などにも記録を記載する。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら新川崎教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に定期的に教室の様子を写真にて配信している。	・定期的に職員会議を開き、職員間の情報共有を行い、支援に活かしている。	・今後も継続的に会議などを着実にやっていく。
2	・定期的な保護者会や面談を行っている。	/毎年決められた時期に必ず面談を行っている。また保護者からのニーズを受けてこちらも定期的に保護者会を行っている。	・保護者会開催、イベント開催時に開催情報を共有する方法が少なく、参加人数が少ないため、周知方法を見直し、参加者増加につなげていく。
3	・音楽療法・言語療法など専門的な支援を行える。	・プログラムについての会議を月に一回必ず行い、プログラムが、同じようなものにならないように工夫している。	・園・学校との連携を強くし、個別支援計画にさらに反映させていくと共に、職員にも情報を共有し、支援方法の拡充を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童数が多く、一人一人の児童特性について職員同士で話し合うことがあまりできていない。	・職員同士で話し合う時間を作っているが、時間が足りず、本題について中々話し合うことができない。	・児童について話し合う時間のみを作り、本題についてしっかり話し合う時間を設ける。また、話し合う児童について児童を絞り、回に分けて話し合いを行う。
2	・外部や地域との交流が少ない。	・交流の機会を設けるのが難しい。	・近隣にどんな施設があるか把握し、交流できるポイントを探す。また、お出かけや公園に行く回数などを増やし、自然と地域と交流できるように意識していく。
3			